

東京カンテイ「マンションデータ白書 2010【速報値版】」を発表

首都圏新築マンションは前年比 24.4%増 47,343 戸 6 年ぶりに前年比供給増に
全国の新築供給戸数は 85,176 戸 首都圏と近畿圏が回復し 5 年ぶりに増加に転じる

首都圏の新築マンション供給戸数～前年比 24.4%増、埼玉県 46.7%増、神奈川県 33.3%増

2010年の首都圏新築マンションの供給戸数は 47,343 戸で 2009 年の 38,059 戸から 24.4%増加した。前年比で増加したのは 2004 年以降 6 年ぶりである。

首都圏の中でもとりわけ神奈川県と埼玉県では供給回復が顕著で、神奈川県では 33.3%増加の 10,607 戸と 1 万戸台を回復したほか、埼玉県では前年比 46.7%増加の 5,281 戸で、供給が激減した 2008 年の戸数を上回った。東京都も 19.9%増加の 27,977 戸まで回復している。

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	10年前年比
北海道	3,657	3,945	2,698	1,677	1,320	78.7%
東北地方	4,534	4,294	2,893	1,554	724	46.6%
北関東地方	6,167	5,208	3,611	1,381	267	19.3%
埼玉県	9,452	8,969	4,871	3,601	5,281	146.7%
千葉県	12,824	8,936	5,598	3,160	3,478	110.1%
東京都	37,562	28,649	25,617	23,340	27,977	119.9%
神奈川県	19,785	14,810	12,037	7,958	10,607	133.3%
首都圏	79,623	61,364	48,123	38,059	47,343	124.4%
北陸・中部地方	4,187	2,724	2,783	1,181	491	41.6%
中部圏	11,697	8,957	8,440	5,505	4,606	83.7%
近畿圏	28,915	29,524	20,762	17,186	21,718	126.4%
中国地方	7,251	6,939	3,152	2,536	2,222	87.6%
四国地方	2,502	1,612	1,945	1,120	912	81.4%
九州地方	12,914	10,687	8,143	7,355	5,191	70.6%
沖縄県	555	318	142	314	382	121.7%
全国	162,002	135,572	102,692	77,868	85,176	109.4%

首都圏新築マンションの価格動向～一戸平均価格は 4 年連続の下落 専有面積は拡大

首都圏新築マンションの平均価格は 4,367 万円となり、前年比 1.7%下落した。平均専有面積が 65.40 m²と 4.6%拡大したため、平均坪単価も 2009 年と比べ 6.1%下落し、220.7 万円となった。地価の下落によって土地の仕入値が下がり、割安感を伴った価格で新規供給が可能となったことが下落の要因である。

